



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球首脳、政府高官）（39.11.11小笠原協会創立等に関し、同胞援護会、吉田事務局長、枝村事務官 外務省外交史料館レファレンス番号：H221350）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(5) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

39.11.11

小笠原協会創立50周年
同胞接護会吉田事務局長

枝村事務首

秘

この文の対心アメリ局長 参事官 北水課長

1488 (19) 沖縄問題会談録(別移L巻2, P.4以下欠落)

小笠原協会創立等に関する同胞接
護会 吉田事務局長 来談の件

39.11.11
土、北

11月11日 同胞接護会 吉田事務局長

長の来談要旨次の通り (上村相室、林村事務局長)

1. かねて計画中の小笠原協会は漸く
関係者の話しあいがまとまり、
来月財団法人の認可を特運局
に申請する段取りになった。
会長には 福田篤泰氏が就任
する予定、
協会発足の上で、小笠原基盤、
帰島促進の事業に着手する
積りである。

2. マケ正岡が近く来日する。例の小笠
原 600万ドル見舞金問題の謝
礼がまだにならなくて、^{所定金額を以て政府保証}と
りあえず
2,000万円支払う予定
(相与~~約~~約 $\frac{1}{2}$ に当る由)

3. 南方同胞接護会の本年度予算ル米口
出張旅費 3名分がついていないので、
大浜接護会長あたりを団
長とする 小笠原問題、沖縄
補償問題に関する^(米協会に於て)陳情団を
派遣したいと思うか、本計画に及
する外務省の感触如何、又時数
とにはいつ頃がよいか、と
聞かれたので、
おそれ、小笠原問題のり2は、
^{私見であるが}

